

娯楽産業育成

返還10年

た。だがカジノの成長は中国の予想を大きく上回り、汚職など社会問題も引き起こした。カジノの過熱を抑えながら娯楽産業をどう育成するのか。中国はマカオの将来像を描ききれずにいる。



カジノ過熱



ゲーム台で客を待つマカオのカジノA.P.

マカオ 中国語表記は澳門。中国の南岸に位置。人口は約55万人。中国と欧州の中継貿易拠点として発展する。1845年にポルトガルが行政権を取得。1999年12月20日に中国に返還された。ポルトガル植民地時代の建物が多く残り、2005年に市街地が世界遺産に登録された。

シンガポール航空

輸送能力を增強

羽田線など新設 需要回復で転換

【シンガポール】牛山（シンガポール最大）の航空会社であるシンガポール航空は旅客輸送能力を增強する。羽田線を含む2つの路線を新設するほか、米ニューヨーク線など8路線で増便に踏み切る。世界的な景気低迷

で能力削減を続けてきたが、需要が回復し始めたため方針転換する。新設する2路線は羽田線と独ミュンヘン線。羽田線は来年10月末から週14便、ミュンヘン線は3月1日からは来年2月3月に運航を停止、マレーシア・クア



劉海濤社長

新・華人企業

ネット通販の強みである安さを武器に急成長した。2005年に大手家電量販店のベストメーカーと提携し、品ぞろえをパソコンやOA機器からテレビや洗濯機、冷蔵庫などに広げた。品目数は7万58万。09年1月期の連結ベースの売上高は291億3600万円、純利益は1億4300万円。

ストリーム 日本

ネット通販、買収で拡充

初めは中国で電機製品の部品を売る仕事を中心にしてきたが、日本でもネット通販に人気が出たのを受け、経営の軸足を移した。07年に東証マザーズに上場した。家電や情報機器のネット通販ではすでに大手といえる規模だ。劉社長が意識する強敵は書籍ネット販売のアマゾン。電機製品の販売でも存在感を増す「巨人」の攻勢に対抗するため、次の戦略を練る。

(編集委員 吉田忠則)

中国・アジア

ラルンポール線やベトナム・ホーチミン線は同1月に減便する。これらを引くと、総運航便数は週20程度の増加となる。

シンガポール航空の11月の搭乗率は82%。3カ月連続で前年実績を上回り、07年12月以来、約2年ぶりの高水準を記録した。世界景気の先行きはなお不透明だが、「経済は改善しつつある」とみて能力拡充を決めた。



張祖林氏

人民元決済が拡大

昆明市長

中国雲南省昆明市の張祖林市長はこのほど日本経済新聞と会見し、「雲南省からベトナムやラオス、インドへの国境貿易は人民元決済の貿易拡大を進めてきた。同社は2010年3月期に旅客輸送能力を11%削減する方針を打ち出し、減便などを

進めてきた。同社の方針と述べた。昆明市は30億人ともいわれるマーケット開拓への窓口になる」とも語り、中国だけでなく東南アジアやインドへの貿易拠点として日本企業に進出を呼びかけた。中国政府は7月に人民元決済の貿易を一部解禁したが、対象地域や企業は限定的。張氏は「ベトナム、ラオス、カンボジアとの国境付近では現地通貨と人民元の直接の為替交換が始まっている」と語り、実質、「人民元経済圏」が機能し始めているとの認識を示した。

さらに、張氏は「一年以内に上海への高速鉄道の建設に着工する」とも明言。2014年の完成予定で、上海と昆明間の所要時間は現在の約40時間から10時間に大幅に短縮される。再来年には年間8千万人が利用する国内4番目のハブ空港も開業する計画だ。